

# WABARA®

Nurturing Natural Beauty

シンプルに、ピュアに。WABARAそのものの恵みを届ける。

**ばら農園直送 「WABARA SKINCARE」 誕生**

2022年1月20日（木）発売スタート



オリジナル品種の「WABARA（和ばら）」を栽培する ばら園「Rose Farm KEIJI（ローズ ファームケイジ）」（滋賀県守山市 CEO：國枝健一）は、2022年1月20日（木）より、WABARA初のスキンケアアイテムとして、「WABARA SKINCARE」の発売を開始します。今回は、SERUM（化粧水）、OIL SERUM（保湿オイル）、PETAL CLAY PACK（保湿パック）の3種を展開します。

野山に咲くような自然な佇まいにこだわって生み出されたWABARA。楚々とした風情のある佇まいの秘密は、微生物の力を活かした滋養たっぷりの土づくりにあります。バラ本来の力を引き出す土壌で育ったWABARAには、たおやかな姿からは想像もつかないたくまさが備わっています。そんなWABARAの恵みをギュッと抽出し、スキンケアアイテムを作りました。一本いっぼんのバラの力をそのまま届けたいから、処方もステップも極力シンプルに。ばら農家だからできる、WABARA SKINCAREの誕生です。

とれたてのフレッシュなWABARAを農園で加工。

土からこだわったWABARAの恵みと力を、シンプル&ピュアに肌へ。

ばら農園が考えたスキンケアをぜひお試しください。

## 商品概要 スキンケア3種

### SERUM (化粧水) 40ml ¥3,850 (税込)

みずみずしいのに、一本でスキンケアが完了するオールインワン処方  
水の代わりに、摘みたてのばらから抽出した「ばらの生体水」を使用



SERUMには、新鮮なばらから低温真空抽出した「ばらの生体水」を約90%使用した贅沢配合。「かおりかざり」と「ダマスクローズ」の花びら、「ローズヒップ」から抽出した「ばらの生体水」をブレンドした、WABARAそのものの香りと恵みをピュアに閉じ込めたローションタイプの美容液です。

3種の「ばらの生体水」をベースに、保水力に優れたスイゼンジノリ多糖体や3種のセラミド、はちみつなどの保湿成分をたっぷりと配合。「シカケア」でおなじみのツボクサエキスをはじめ、鎮静や抗酸化に優れた植物成分を厳選してブレンドしました。ローション感覚のみずみずしいテクスチャーながら、1本でスキンケアが完了するオールインワン処方。季節や肌質、ジェンダーを問わずにお使い頂けます。

成分：スクワラン、ダマスクバラ花油

フリー処方：動物由来原料、タール系色素、石油系界面活性剤、紫外線吸収剤、鉱物油、合成ポリマー、合成着色料、パラベン、合成香料、サルフェート、アルコール、旧表示成分、DEA、シリコーン、防腐剤

### OIL SERUM (保湿オイル) 15ml ¥7,480 (税込)

ダマスクバラ花油と植物性スクワランだけのシンプルなオイル美容液  
ワイルドに育てたダマスクローズの力を凝縮



ダマスクローズの花びらを植物性スクワランで超高压抽出。ダマスクバラ花油とスクワランだけで作った、シンプルなオイル美容液。滋養たっぷりの土で育ったWABARAならではの繊細な香り。

原材料は2種類、ダマスクバラ花油と植物性スクワランだけ。ダマスクローズの花びらをスクワランオイルで抽出。ばらのそのものの力が余すところなく溶け出したオイルを、余分なものを一切加えずにお届けします。抽出に使うオイルは、ダマスクローズ本来の香りを邪魔しないサトウキビ由来の植物性スクワランを採用。高熱を加えず植物性の原料だけで作った、オイル美容液です。

全成分：スクワラン、ダマスクバラ花、パルミチン酸デキストリン

フリー処方：石油系界面活性剤、紫外線吸収剤、鉱物油、合成ポリマー、合成着色料、パラベン、合成香料、サルフェート、アルコール、旧表示成分、DEA、シリコーン、防腐剤

### PETAL CLAY PACK (保湿パック) 30g ¥6,270 (税込)

ダマスクローズの花びらと植物性スクワランで作ったパック。ばらそのものの恵みでスペシャルケア。



無肥料無農薬で大切に育てたダマスクローズの花びらを、熱を加えずパウダー化。この花びらそのもののパウダーに、植物性スクワランを加えたのが「ローズペタルクレイパック」です。パウダー加工することでバラの成分がしっかりと溶け出し、濃厚なマスクが完成しました。

生チョコレートのようなテクスチャーに、水を混ぜてお好みの硬さのペースト状にして塗るホームメイド感覚の塗るパック。スパチュラー一杯で全顔に使えるので、毎日使っても約1か月、スペシャルケアとして週1、2回なら約3ヶ月もつコストパフォーマンスも自慢です。バラの成分たっぷりの花びらを惜しみなく使えるのは、ばら農園だからこそ。使い続けるほどに肌のもっちり柔らかくなり、開発担当者も驚いたほどの保湿パックです。

成分：ダマスクバラ花エキス、カニナバラ果実エキス、ハイブリッドローズ花エキス、プロバンジオール、ハチミツ、ペンチレングリコール、水、スイゼンジノリ多糖体、セラミドAP、セラミドNP、グルコシドセラミド、加水分解オクラ種子エキス、カミツレ花エキス、ミルシアリアデュビア果実エキス、ツクボサエキス、イタドリ根エキス、オウゴンエキス、チャ葉エキス、ローズマリー葉エキス、カンゾウ根エキス、 $\alpha$ -グルカン、PEG-60水添ヒマシ油、デキストリン、クエン酸、クエン酸Na、BG、1-2ヘキサジオール

フリー処方：石油系界面活性剤、紫外線吸収剤、鉱物油、合成ポリマー、合成着色料、パラベン、合成香料、サルフェート、アルコール、旧表示成分、DEA、シリコーン、防腐剤

## WABARA TOKYO DELIVERY SERVICE 2022年1月の実施日程およびエリアのご案内

2021年秋にスタートした、滋賀のRose Farm KEIJIの農園から、東京のアトリエに届いたばかりの新鮮なWABARAを、デリバリースタッフがご指定の場所までお待ちし、手渡しでお届けする「WABARA TOKYO DELIVERY SERVICE」。1月は、エリアも期間も拡大して実施します。

### 日程

2022年1月14日（金）~1月31日（月） 定休：水曜日、木曜日

### 価格（税込）

和ばら束（和ばらのみ） 10本 ¥4,950 / 25本 ¥11,000

和ばらブーケ（和ばら+ 和ばらの枝葉） 10本 ¥5,500 / 15本 ¥8,250（本数は和ばらの数）

お届け時間 ご指定日の10:00~22:00の間でご希望の時間帯（1時間枠で設定）が選択可能

### ご注文方法

ホームページよりご注文ください。 <https://www.wabararose.com/pages/tokyo>

### 送料

送料無料エリア：港区、渋谷区、新宿区、豊島区、中央区、千代田区、文京区、台東区、江東区、荒川区、墨田区

送料 ¥330エリア：中野区、北区

送料 ¥550エリア：目黒区、品川区、杉並区、板橋区

送料 ¥880エリア：世田谷区、練馬区

## WABARA TOKYO DELIVERY SERVICE の特徴



### 農園から届いた新鮮なWABARA

農園からお届け日に合わせて届くWABARAを、東京のアトリエで、その日に「Rose Farm KEIJI」のスタッフがブーケにしてお届けします。

### 配達員のピックアップからお渡しまで最大約1時間

お届け時間の約1時間前まで、「Rose Farm KEIJI」のスタッフがお花の管理をしています。交通機関の乱れや渋滞による遅延、クール便によるお花の凍結などのリスクを最小限に抑えます。

### ミニマムな梱包資材でご自宅以外での受け渡しも可能

花束をミニマムなラッピングでペーパーバックに入れてお届けします。お受け取りはご自宅以外でも可能です。特定できる場所（駅の出入り口やカフェ、公共施設等）であれば待ち合わせでの受け取りも可能です。受け取った方も梱包資材の処理のお手間もかからず、ご自宅以外での受け渡しもスムーズに行えます。

### 急なお花のご依頼にも対応 最短で翌日のお花のお届けが可能に！

お花をご用意できる場合に限り最短でご注文の翌日のお届けが可能となります。\*今後は当日ご注文の対応などサービスの拡大を予定しています。

## WABARAとは



滋賀県守山市のばら園「ローズファームケイジ」のオリジナル品種のWABARAは、「風になびく、野に咲く花のようなばらを育てたい」という、ばら作家 國枝啓司の思いのもと、誕生しました。

一般的なばらとは異なり、柔らかい花姿で、たおやかな茎を持ち、香り高く、日ごとに表情をかえていきます。

自然に限りなく近い環境をつくりだし、育つことをばらに任せる独自の栽培方法で育てたばらたちは、繊細でたおやかでありながら、内に秘めた力強さを持ち合わせます。

4 haの広大な農園では、切り花、園芸苗の他に、無肥料、無農薬で育てる食べるためのばらも育て、食べられるばらを使用した商品開発にも力を入れています。

## 関係者プロフィール



### 國枝啓司 | Keiji Kunieda /ばら作家

1956年、滋賀県生まれ。1976年に父である國枝栄一が営む國枝バラ園に就農、栽培技術担当者として生産に従事する。1981年、ヨーロッパ研修にて学んだ思想や技術をもとに育種家としての活動を開始し、皇太子殿下、雅子妃殿下（現天皇后陛下）に献上した「プリンセスマサコ」や神戸元町のシンボルローズをはじめとするオリジナル品種の創造に励む。2003年、ばら園「ローズファームケイジ」を設園。2006年に長男健一を事業パートナーに迎える。10年をかけて慣行栽培から土耕栽培への移行を実現するとともに、オリジナル品種を「WABARA」ブランドとして確立させる。健一に経営を継承した現在は、ばら作家としての活動に専念している。



### 國枝健一 | Kenichi Kunieda /ローズファームケイジ代表

Rose Farm KEIJI 代表。ばら作家の父 國枝啓司の生み出すばらを「和ばら」と名付けるとともに、和ばらの世界観の構築のため栽培方法を一から見直し、父とともに理想のばらを追求める。現在の栽培手法を確立し、琵琶湖畔に農園を新設。ばらの栽培の風景までもを価値化し、切り花から園芸苗、食用ばら、加工品事業を自社で一貫して行う。また「WABARA」として、和ばらの哲学や思想を世界に発信。海外からも注目を浴びる。現在6カ国に生産パートナーをもつ。

お客様お問い合わせ先

Rose Farm KEIJI Website <https://www.wabararose.com>

メディア お問い合わせ先

HOW INC. E-MAIL [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp) TEL 03-5414-6405